

県下の交通事故 (3月末現在)

区分	事故件数	死者	負傷者
年別			
43年	909	42	1,171
44年	1,158	46	1,502
比較	増 249 (27.4%)	増 4 (9.5%)	増 331 (28.3%)



第12号

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1

山梨県交通安全協会

TEL. 甲府 (0552) (35) 2121 内線338



酒飲めば 愛車が凶器に 早変わり

春の全国交通安全運動

5月11日から5月20日まで

重点！飲酒運転の追放

高速道路の安全確保も

ことしも五月十一日から二十日まで十日間、春の全国交通安全運動が

目的

この運動は、人命尊重の見地から交通事故防止の徹底、特に歩行者の交通事故の絶滅を目標として、すべての歩行者、運転者、運

期間

準備期間 自五月一日 至五月十日

実施期間

自五月十一日 至五月二十日

重点目標

(一) 飲酒運転の追放 (二) 歩行者(特に子ども、高齢者、身体障害者)の安全確保

推進事項

(一) 交通安全思想の普及活動 (二) 正しい横断歩道の歩行者保護の徹底

推進事項

(一) 交通安全関係法令の徹底 (二) 交通安全関係法令の徹底

推進事項

(一) 飲酒運転の追放 (二) 歩行者(特に子ども、高齢者、身体障害者)の安全確保

このたびの運動により交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。



あぶないよ おうたん！どうは そじやない！

追越しはなるべくしない。必要距離の判断を確実に。

追越しはなるべくしない。必要距離の判断を確実に。

追越しはなるべくしない。必要距離の判断を確実に。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

交通安全の重要性を再認識する機会を得た。また交通安全の重要性を再認識する機会を得た。

着々すすむ安全対策

県安協の定期総会開く

山梨県交通安全協会では、四月二十八日、昭和四十四年度の定期総会を開きました。

総会には、正副会長をはじめ理事、監事、評議員等が出席し、事業報告、事業計画、決算、予算等の審議をし、いずれも原案どおり決定いたしました。

昭和四十三年度事業報告

昭和四十三年度事業計画に基づき事業を推進しました。役員各位をはじめ各会員、関係機関団体等の理解あるご協力により、所期の成果を収めることができました。ここに事業のあらましを報告いたします。

四月一日～四月三十日
新入学児童を交通事故から守る運動実施、腕章一三〇〇〇枚、ちらし一五〇〇〇枚配付(県警、交対協と協力)

四月十六日
第一回交通安全写真コンテスト入賞者表彰
四月二十三日
理事会開催

四月二十四日
交通安全都市連絡協議会、二名出席(全国町村会館)

四月二十五日
関東管区交通安全協会連合会総会及び表彰式、団体甲府交通安全協会、個人平井一満(半蔵門会館)

四月二十五日
機関紙第八号発行(十一万部)

五月十一日～五月二十日
春の全国交通安全運動実施(五月二十二日)

五月二十二日
道路交通法解説用掛図配付(一〇〇本学校、役場、署)

五月二十八日
会計監査(小沢、中込両監事)

四月二十八日、県安協の総会の席上で、山梨県共済農業協同組合連合会会長の名取友一氏から金丸会長に、こどもの交通安全用器材一式が贈られました。

これは信号機一組(四基)、道路標識七〇枚(規制標識四六枚、指示標識一三枚、警戒標識一一枚)、拡声装置一式(ワイヤレスアンテナ一台、ワイヤレスマイク二個、スピーカー二台)、交通安全手袋三〇〇双から成っており、交通安全教育上たいへん役立つ器材であります。各協会、学校などの申し込みに応じ貸出しを行ないますので、ご活用ください。

交通教室用器材を寄贈

—全共連と山梨県共済連で—



四月二十八日、県安協の総会の席上で、山梨県共済農業協同組合連合会会長の名取友一氏から金丸会長に、こどもの交通安全用器材一式が贈られました。

これは信号機一組(四基)、道路標識七〇枚(規制標識四六枚、指示標識一三枚、警戒標識一一枚)、拡声装置一式(ワイヤレスアンテナ一台、ワイヤレスマイク二個、スピーカー二台)、交通安全手袋三〇〇双から成っており、交通安全教育上たいへん役立つ器材であります。各協会、学校などの申し込みに応じ貸出しを行ないますので、ご活用ください。



七月三十日
正副会長会議
八月一日～八月三十一日
道路を守る運動協力実施
八月九日
自転車の安全な乗り方関東ブロックコンテスト大会参加、甲府東小、櫛形北小(駒沢体育館)
九月十七日～九月十八日
第四回交通安全相談研修会、三名参加(半蔵門会館)
九月二十六日
第二回交通安全写真コンテスト入賞者表彰
九月二十八日
機関紙第九号発行(十一万部)

九月三十日
理事会開催
十月十一日～十月二十日
秋の全国交通安全運動実施
十月十四日
こどもを交通事故から守るの大会(二名参加(全国町村会館))
十一月四日～十一月五日
第一回ホークリフト講習実施
十一月七日
第十回県下中学生交通安全弁論大会開催
十一月十七日
三浦アキラによる歌う交通安全

安全キャンペーン実施(甲府・南甲府・富士吉田)
十一月十一日～十一月十二日
役員研修実施
十一月十四日
交通安全功労者(優良運転者等)の表彰式(県民会館)
十一月二十五日～十一月二十六日
第二回ホークリフト講習実施
十一月十六日～十一月十五日
年末年始の交通事故防止運動実施、ステッカー二二、〇〇〇枚配付(県警、交対協と協力)

一月八日
交通安全祈願祭及び役員会開催
一月二十日～一月二十一日
第九回交通安全国民総ぐるみ運動中央大会、四三名参加(日比谷公会堂)
一月二十一日
全日交表彰式、金章五味新二(山交)、銀章中込太四郎(監事)、同伊東為治(富士急行)、同伊藤部安協、同櫛形北小学校
一月二十五日
機関紙第一号発行(十一万部)

昭和四十四年度事業計画

県民の交通安全に対する関心を高め、交通事故を防止するとともに、交通の円滑化を図るために、次の事業を重点的に行なう。

一、交通安全運動の実施
関係機関と協力し、春秋二回の全国交通安全運動、こどもを交通事故から守る運動、夏季及び年末年始の交通事故防止運動、飲酒運転防止運動、毎月十日の交通安全デー等を積極的に行なう。

二、交通安全功労者等の表彰
交通安全功労者、優良運転者、優良地域(職域)団体及び優良学校(交通自治班等)表彰
交通安全活動に協力した団体又は個人に対する感謝状の贈呈
三、自転車の安全な乗り方教室及びコンテストの開催
小・中学生を対象として、

一月二十九日
県下小中学校にスコッチライト配付(二、四〇〇袋)
二月十四日～二月二十日
県下五ブロックにて事務局会議(会費統一の検討)
三月十二日
関東地区交通安全母の会結成推進大会、九名参加(東京文化会館)
三月二十七日
役員会(会費統一を決議)
三月二十九日
パンフレット「母と子の交通安全」配布(一、〇〇〇部)
年間行事
○県公安委員会の委託による行政処分者講習実施(毎月一回、六三三人)
○交通安全反少年の補導講習実施、毎月一回(保護観察所の委託による)
○県警、交対協と協力し交通安全デー実施(毎月十日)
○映画貸出し(二、四〇〇回)
○交通PR誌「人と車」配付(隔月三〇〇部)
○交通PR紙「交通安全ニュース」配付(毎月一五〇部)

ルム、スライド、テープ等を購入し、各種団体等の要請に応じて貸出しを行なうほか、映写、録音、放送等の器材の充実を図る。
エ電波利用による啓発宣伝
NHK、山梨放送等の協力を得て交通対談、交通安全等の番組を編成するほか、交通安全資料の提供、スポット放送等を行なう。
交通安全写真コンテスト並びに写真展の開催
第三回交通安全写真コンテストを実施するほか、これら写真を活用して交通安全写真展を開催する。
カバ資料の作成配付
ポスター、壁新聞、チラシ、パンフレット、リーフレット等の資料を作成配付し、道交法の周知徹底と、交通安全思想の高揚につとめる。

五、機関紙の発行
機関紙「やまなし安協ニュース」を一回に十一万部、年五回、計五十五万部発行する。

六、運転者講習会の開催
運転者を対象とする講習会を開催し、交通法令の周知徹底と、交通道徳の高揚を図る。

七、安全運転管理者講習の実施
警察と協力し、安全運転管理者の講習会を開催し、その指導能力の向上を図る。

八、免許停止処分者の講習実施
県公安委員会の委託による運転免許停止処分者講習会を開催し、毎週三回講習を実施する。

九、交通安全反少年の補導講習実施
保護観察所の委託により、交通安全反少年に對し、一月一回講習を実施する。

十、ヘルメットをかぶる運動の実施
二輪車による死亡事故を防止するため、ヘルメットをかぶる運動を展開する。

十一、交通安全弁論大会
県下中学生交通安全弁論大会を開催する。

十二、交通安全母の会の指導と組織化
県下の交通安全母の会の組織化と、活動の活性化を促進する。

十三、その他
ア他の機関、団体の行なう交通安全活動に對し、協力助成する。
イ交通安全に関する各種調査研究を行なう。

常任理事更迭

当協会常任理事であった交通部長坂本三三警視は、三月三日付で刑事部長に栄転されました。

後任には、総務室長の矢崎治雄警視が交通部長に栄転され、当協会の常任理事として、協会の発展に尽力をいたしたることになりました。

表彰

四月二十五日、東京の半蔵門会館において、関東管区交通安全協会連合会の総会が行なわれ、その席上、交通安全功労者の表彰が行なわれました。

▽関東管区交通安全協会連合会長表彰
団体 富士吉田交通安全協会
個人 高村捷治(富士吉田安協会長、県安協副会長)

交通安全国民総ぐるみ運動 中央大会に出席して

一月二十日、二十一日の両日、全日本交通安全協会の主催により、東京で、第九回交通安全国民総ぐるみ運動中央大会が開催されました。

私は、山梨県交通安全協会会長の指名により、大会の一つの部会である交通事

人間の金銭評価に疑問

誠 田 村 吉 沢 町 島 敷



とびだすな 車は急に止れない

連絡会とか、交通事故被害者福祉協会、又は交通事故被害者の会などというタスキをかけて参加して、被害者が横の連絡をとって、それがわかりました。

九時から十時まで第五回全国交通事故被害者慰霊祭がしめやかに催われ、参加者の多くは、亡き夫、亡き妻の遺影を抱いて涙を新たにしました。

交通が激しくなり、家族の者も交通事故に対する注意が足りなかつた点、大いに反省しております。

交通被害者を救済するための、自賠法による保障においても、日本の三百万円という最高額は、フランスの三千万円、ドイツの九百万円にはとうてい及ばない額で、最近引上げの動きはありますが、これとてまだまだ比較になりませ

ともかく欧米なみに近づける努力をせしめていたいただきたいものであります。

しかし、これとて交通災害の後始末であつて決して前向きな解決でないのみか、一面では運転者の意識の導入するよう役目さえ果たしきれないのが現実ではないでしょうか。

私は、長女の事故の当時何人もの方が、単なる事故では一文にもならないと、世界を驚かす程の水準を保つておられますが、人間としての徳育の面が問題になつたと言えません。

このことは、現在の知育偏重の教育を指摘しなければならぬと思つて、交通事故被害者の教育に当る担当者には大いに考へていただきたい問題であります。

故被害者部会に出席して、交通事故被害者遺族の一人として意見発表を行なつてまいりましたので、大会の模様と、私の発表内容を報告いたします。

私は、岩手、東京、神奈川の代表のあと、次のような発表をしました。

私は、昨年七月十八日の夕刻三才の長女を乗せて交通事故で失なつた者です。

最近都市の交通渋滞から影響か、郊外でスピードを上げる車が多くなり、都市周辺での事故が増加の一途をたどつていますが、私の子供の場合も郊外で起つた事故であります。

事故の状況を簡単に述べますと、友だちの家に行つたとき、県道に停車中の車のかげからとび出したところを、市内のラッシュ時

を避けようとして横断を急いでいた貨物乗用車にはねられたのです。

この事故は、子供の不注意によるものであります。事故が、今反省されますことは、事故当時の私共、交通事故被害者の子供への指導と注意が足りなかつた点であります。

観光地の入口で季節的に交通が激しくなり、家族の者も交通事故に対する注意が足りなかつた点、大いに反省しております。

交通被害者を救済するための、自賠法による保障においても、日本の三百万円という最高額は、フランスの三千万円、ドイツの九百万円にはとうてい及ばない額で、最近引上げの動きはありますが、これとてまだまだ比較になりませ

ドライバー教室

運転中、知つていても、聞かなくても、気がつかない場合があります。

これが一番危険なときです。車の渋滞をかきわけ、すりぬけ

やうと普通に行ける道路に行き、長距離運搬の場合、連続夜間作業

のあと、折り返しの後の予定変更の仕事、長い休日の後など、いずれも要注意といつていい

いねむり運転もこんなとき起こります。去る日、国道二十号線のかなり見通しがきくところ



みんなで歩いているときもひとりひとりがよくちゅうい

いのに、たとえ少しでも補償がもらえるのだから... というような、形や意味あいの慰めをいたさず、たしかに失なわれた生命

がどんなに返らない現実において、補償されるべきでない問題、そのように受け止められるのでしようが、私は何か割り切れないような、反論した

いような、つた経験があり、たゞ少しでも補償がもらえるのだから... というような、形や意味あいの慰めをいたさず、たしかに失なわれた生命

第三回交通安全写真コンテスト募集要綱

趣旨 交通安全の写真撮影を通じて、交通安全問題に対する理解と関心を高める

- 第一部 交通安全一般 (道路交通の状況、交通指導取締り、良い交通、悪い交通、交通安全施設、交通安全教育、交通安全運動等の状況)
- 第二部 交通事故現場の状況 (ただし、悲惨な事故現場のスナップは除く)
- 第三部 交通安全の啓蒙 (交通安全の啓蒙活動)

- 最優秀賞 (黒白、カラーを一つ) 一名
- 山梨県交通安全協会長表彰状及び賞金二万円 (賞金) 一名
- 優等賞 (黒白、カラーを一つ) 五名

このたび山梨県では、山梨県道交通安全法施行細則の改正の機会に、これを印刷して頒布することにいたしました。

このたび山梨県では、山梨県道交通安全法施行細則の改正の機会に、これを印刷して頒布することにいたしました。

このたび山梨県では、山梨県道交通安全法施行細則の改正の機会に、これを印刷して頒布することにいたしました。

このたび山梨県では、山梨県道交通安全法施行細則の改正の機会に、これを印刷して頒布することにいたしました。

このたび山梨県では、山梨県道交通安全法施行細則の改正の機会に、これを印刷して頒布することにいたしました。

指定自動車教習所教習課程表

教習区分	教習項目	技能				計	法令	構造	安全運転の講習	計
		第一段階	第二段階	第三段階	第四段階					
大	なし(小特・原付)	7	7	10	16 (13⑩)	40 (33.3)	15	10	5	30 (25)
	二輪	6	6	9	15 (13⑩)	36 (30)		10	5	15 (12.5)
型	普通	2	3	5	7 (6④)	17 (14.2)			5	5 (4.2)
	なし(小特・原付)	4	4	7	12 (10⑥)	27 (22.5)	15	10	5	30 (25)
普通	二輪	3	3	6	11 (10⑥)	23 (19.1)		10	5	15 (12.5)

【備考】(1)1時限は50分である。
 (2)計、欄の()内は時間数を示す。
 (3)第四段階の()内は路上教習時間()内はその最低限を示す。

路上運転は最低六時限(5時間)

警察庁 自動車教習を統一

警察庁は、運転技能の向上をはかるために、かねてから検討を続けてきたが、このたび指定自動車教習所の教習課程を制定し、七月一日から全国的に実施することになりました。

制定の主な理由は、(一)依然として激増の一途をたどる交通事故の大多数は、その原因が運転者の側にある。(二)運転免許取得者の七二%は指定自動車教習所の卒業業者であって、教習所が

運転者教育の面で果たす役割は、きわめて大きい。

(一)指定自動車教習所の運営の実態をみると、一部においては検定コース中心の教習や、いわゆる目印教習などの好ましくない教習を行なっている。

(二)四段階教習を採用し、各段階ごとに進捗の確認(みきわめ)を行なう。

(三)路上教習を、従来は二〇分以上三〇〇分以下であったものを、今回は三〇〇分以上五〇〇分以下に引き上げ強化した。

(四)安全運転の知識の教習を、法令、構造教習時間の中から独立させて二五〇分を別に行なう。

(五)安全運転の知識の教習は、法令、構造試験の免除者でも、これを行なうこととした。

(六)なお、カリキュラムの概要は別表のとおりであります。



親がまず 手本を示そう 正しい横断

名神、東名、中央の各高速道路で行なわれた車両点検の結果を見ると、いつのどの場所での点検でも、空気圧が適正でないもの、トレッド(接地部)ゴムの減りすぎているもの、タイヤの整備不良の車が多く、大体点検車両の二割くらいが注意を受けています。中でも

適性であれば安全

タイヤの空気圧について

母親とか、おばあさんとか、危い、危いといつて何もさせない子は、運動神経も鈍く、臆病者になって一生苦労すると言われます。

カエルやセミなどのような無害な動物でも、こわがってキョートと云う子もありません。

恐れるべきものと、恐れなければならないものとをハッキリ見分け、恐れるべきものに対しては、正しく対処できるように子どもに育てあげなければならぬと思います。

私の提言

河西定男

それには、親なり教師などの模範がたいせつです。幼児は模範によつてものを覚えるのですから、

任と言えましょう。これも自転車に乗りたがるのですが、これなども、ただ危いからと言つて乗せないのは感心できません。

正しい乗り方をしっかりと教え、完全に身につけさせることが、子どもの希望をかなえさせることでもあり、また、激しい自動車時代に適応する交通安全人をつくる積極的な在り方だと思ひます。(甲府交通安全協会西青沼支部長)



空気圧の不足はめだつて多いのです。

タイヤというものは、適正なヒズミのとき、こぼれをばねに言へば、荷重に対応した空気圧(適正空気圧)のときに最高の性能を発揮するように設計されています。JISにもタイヤサイズ、プライ(タイヤの強度)ごとに荷重能力の限界内で空気圧を段階的にきざんで定めてあり(推奨許容荷重という)、カーメーターのカタログにも標準空気圧の名でちゃんと記載されています。

したがって、空気圧はドライバーにとってタイヤに関する最も切迫の、そして最も大切な知識のほうであります。一般道路を走るときはもちろん、空気圧が適正であれば安全で経済的でもあるが、高速走行の場合には、空気圧はより第一に重要であります。

それでは、空気圧が適正でないとき、空気圧が低く、高くなるとどうなるのでしょうか。

①空気圧が低い場合
 ①タイヤの摩耗が早くなったり、片よつて摩耗する。
 ②タイヤ内部の発熱が高くなり、タイヤ構成材料の疲労を早めてコード切れを起したり、ゴムやコールド層にセパレーション(はく離)を起してタイヤが破壊する。

③走行抵抗が増加して燃料費の効率や操縦性が悪くなる。

④高速走行のときには、最も危険なスタンディングウェーブ(タイヤの波打現象)を起してタイヤが破壊することがある。

⑤空気圧が多すぎる場合
 ①カーカス(タイヤの骨格)が過度の緊張状態におかれるため、コード切れやショックパーストを起しやすくなる。

②特にいちじろしく多すぎると、トレッドのセンター部分に局部摩耗を起し、摩耗を早める。

③乗心地が悪くなり、ブレキのききも悪くなる。

④前・後輪の空気圧がアンバランスの場合
 ①後輪の空気圧が前輪の空気圧よりあまり低すぎると、オーバーステア気味になり、尻ふりを起しやすくなる。



あなたのたいせつな頭部を守るためにヘルメットをかぶりましょう

新規購入 映画の紹介

このたびの映画を購入了ました。

なるべく多くの人びとに見ていただきたいと思ひます。ご活用ください。

一、「交通戦争」の子どもたち
 十六ミリ、白黒、十三分三十秒。

二、「ある横断歩道」
 十六ミリ、白黒、十三分三十秒。

ラッシュタイム、通勤者たちがドッと繰り出す時間である。時計を気にしながら、無理な横断やとび出しもでる。

こんなとき、自分が被害者になる公算はもろもろ多い。時により車の方に追突事故などを起すケースも多い。

午後、人通りは少なくなつた。車はスピードを上げて走る時間である。この時間には交通のルールに比較的自由な主婦や老人が渡る。

「歩行者はいつも交通ルールに基づいて、正しいマナーを身につけなければ、交通戦争の被害者になることを忘れてはならない。」と、この映画は教えている。一般向。

四、「交通戦争」その統計の実態
 十六ミリ、白黒、十三分三十秒。

この映画は、交通事故を統計の上から分析して、いかにしたら事故を防ぐことができるかを教えている。運転者、一般向。

五、「飲酒運転の悲劇」
 十六ミリ、カラー、二十分。

交通三悪と言われる酒酔い運転、無免許運転、ひき逃げのうち、その大半を占めるのが酒酔い運転である。

酒を飲んだら運転してはいけないという事は、だれでも知っているが、たつた一杯だからという安易な気持ち、すすめらというついで飲んでしまつたという事とは、世間一般の通弊となつてゐる。

「事故を呼ぶ酒は飲まないで、飲まずまい」ということを、国民のひとりひとり心が誓つて実行しているならば、酒酔い運転などが起きようはずがないのに、それが絶えないということ、国民の自覚が足りないこと、これに起因していると言われなければならない。

この映画は、酒酔い運転の悲惨さを世に訴え、国民の自覚を呼び起こさせる警鐘ともなればという意図のもとに、制作されたものである。運転者、一般向。